

総会を終えて ～本年度の調査研究も次々にスタート

■北農五連委託事業研究班会議及び現地調査

(四月八日、四月一九日、四月二四日、五月九日、

五月二四日、六月七日、六月二二日、六月二八日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に研究者が同席して研究班会議の開催と現地調査を行いました。

■北海道農業公社委託事業研究班会議(四月一七日、六月四日)

今年度、北海道農業公社から受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

■監事監査

(四月二三日)

平成三〇年度の事業報告・計算書類他、理事の職務執行状況等について、全てが適正に表示されており、併せて職務の遂行に関しても適正に処理されているとの、監査報告がありました。

■平成三一年度第一回理事会

(四月二三日)

前年度事業報告と役員推薦会議設置及び通常総会開催を決めました。

■令和元年度役員推薦会議

(五月七日)

理事の任期満了に伴う役員選任として、推薦する理事候補者を決定し候補者名簿を理事長に提出しました。

■共同研究の打合せ

(五月一六日)

「JA帯広かわにし」と、次期農業振興計画策定に関わる打合せを行いました。

■「北海道大学とJAグループ北海道との包括連携協定」連携協議会への参加

(五月二四日)

第三回連携協議会にオブザーバーとして参加し、平成三〇年度の活動経過と令和元年度の活動計画について報告を受けました。



■令和元年度第二回理事会

(五月二十九日)

理事の任期満了に伴う候補者(案)選任議案を、総会へ提出することを決めました。

■令和元年度(第二九回)通常総会

(五月二十九日)

正会員総数一四九会員、当日出席三二会員、書面出席一七一会員、出席会員合計二〇四会員。

総会終了後に特別講演会を実施しました。講師は北海道大学相浦宣徳教授で、「食料基地

北海道を支える物

流の役割と課題」

と題して講演して

頂きました。

講演会の内容は

本号の特集コーナー

をご覧ください。

■令和元年度第三回理事会

(五月二十九日)

総会で選任された理事の互選により、代表理事と業務執行理事を決めました。

■自主研究「六次産業化・農商工連携の展開と農畜産物・食料市場のニューウェーブ」研究班会議及び現地調査

(五月三十一日、六月一日、六月二四日～二五日)

研究者が同席して、研究班会議の開催と現地調査を行いました。

■農研機構生研支援センター委託事業の研究推進会議及び現地調査

(五月三十一日、六月一七日)

ホクレン・十勝農試との研究コンソーシアムで契約している研究事業について、本年度の調査研究に関する打合わせと現地調査を行いました。

■自主研究「北海道における農村生活史と農協による生活イン

フラ形成に関する調査研究」研究班会議 (六月一〇日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。